

月潭の絵からは、江戸以来の
野に在った職業絵師の姿が見えて来る

野に生きた絵師

池田月潭

没後100年展



頼朝富士巻狩図(部分)

Artist in the Wild IKEDA GETTAN 100th Anniversary of the Death

2023

9/26^火 → 10/9^月

10:00—17:00 (最終入場 16:30)

文教の杜ながい (旧丸大扇屋、小桜館)

入館料: 無料

お問い合わせ 一般財団法人 文教の杜ながい

山形県長井市十日町 1-11-7 Tel:0238-88-4151



文教の杜ながい
BUNYO NO DUNAGAI



後醍醐天皇笠置山御潜幸図（二幅）



親子猫に牡丹



頼朝富士巻狩図

長井市と縁の深い日本画家である池田月潭（二八八一〜一九三三年）は、幾つもの展覧会で入賞を重ね、大正時代の日本絵画評価表に著名日本画家らと並んで記される等、生前高い評価を受けていました。歴史画を得意として、信州・東北を中心に多くの画会を開き、三千点を超える作品を残しましたが、一九二三年に関東大震災で負った怪我がもとで没しました。その後は長年の間歴史の陰に埋もれていました。しかし近年の調査によって改めてその画業に光が当たり、足跡や人物像が明らかになりつつあります。本展では、新たに長井市収蔵品となったものや、市内外から借用した作品を紹介し、在野で民衆の生活に寄り添い続けた絵師・月潭の足跡を辿ります。



池田月潭 IKEDA GETTAN

1881 (明治14)

元庄内藩士池田道重の長男として東京神田に生まれる。本名は龍治。

1895 (明治28) 村田丹陵に師事する。

1899 (明治32) に雅号「月潭」を受ける。

1903 (明治36)

11月、「能楽羽衣図」が日本美術協会主催美術展覧会で褒状三等を受ける。

この頃から桐生、長野、鶴岡湯田川など各地で画会を開く活動を始める。

1914 (大正3)

この年からほぼ4年間、長井町宮の十日町に、大正8年から死没までの5年間、同町小出2148番地に住み、長井、宮内、米沢、山形などで活発に画会を開く。

1919 (大正8)

「養老勅使之図」が第五回全国絵画展覧会（大阪関西院主催）で一等賞金牌を受ける。

1921 (大正10)

「人物画」が日本研美会主催全国絵画実力調査会で名誉一等賞金牌を受ける。

1923 (大正12)

関東大震災で負傷し、長井町の弟（龍三）宅にて療養していたが間もなく息を引き取る。

Talk Event 現役作家が見る月潭作品の魅力と個性

現役日本画家と研究者による月潭深堀りトークイベント

金子朋樹（画家、東北芸術工科大学芸術学部日本画コース准教授）

池田道正（山形大学名誉教授、池田月潭ウェブサイト管理人）

10月9日 月曜日

14:00~15:30

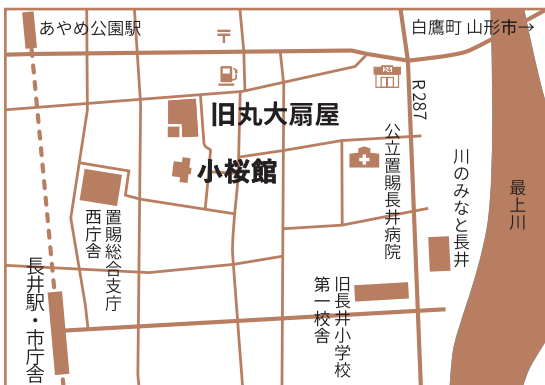
文教の杜ながい（旧丸大扇屋）

料金_無料

定員_30名



申し込みフォーム



NEW BOOK!! 月潭作品をまとめた図録集が発刊されます!

野に生きた絵師 池田月潭の画跡

～没後百年を記念して～

発行日_2023年9月26日(火)/編集・発行_池田道正/印刷_杉葉堂



一般財団法人 文教の杜ながい 丸大扇屋・長沼孝三彫塑館・小桜館

Access フラワー長井線長井駅より徒歩13分、あやめ公園駅より徒歩6分

お問い合わせ・ご予約 一般財団法人 文教の杜ながい

山形県長井市十日町1-11-7 Tel:0238-88-4151

